

第3次草津市環境基本計画 達成目標進捗調査票

資料2

◆調査票の構成について

【目標値】

- ・基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの目標値を記載しています。
- ・本計画ではR8年度の間目標値とR14年度の最終目標値のみ設定しているため、他の年度は按分するなどして算出し、かっこ書き表示で記載しています。

【実績値】

- ・基本方針ごとに設定した達成目標にかかる各年度ごとの実績値を記載しています。

【R5年度成果】

- ・「R5年度目標値との比較」と「前年度(R4年度)との比較」について記載しています。

【R8年度目標達成に向けての課題および改善策】

- ・R5年度成果を踏まえ、本計画の中間年度であるR8年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。
- ・「市民1人当たり都市公園などの面積」は、「第3次草津市みどりの基本計画」と整合を図り、中間年度をR9年度に設定しているため、当該年度での目標達成に向けての課題および改善策を記載しております。

1. 環境について学び行動できる地域社会づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
環境学習および活動の企画・実施サポート件数	件	環境政策課	目標値	/	(190)	(200)	(210)	(220)	240	300	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値210件に対して、R5年度実績値は139件となり、目標を達成できなかった。主に、R4年度に組織改編に伴うクリーンセンター内の貸室の減少により利用件数が減少したことや、コロナ禍による団体内での活動機会自体の減少傾向が回復しなかったことが要因として考えられる。	市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市HPや広報くさつへの掲載や各種団体へのチラシ配布を通じて環境学習に関するイベントの周知・発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、R4年度から外部委託しているエコプラ環境学習啓発業務について、環境学習および活動の企画・実施のための支援内容の充実を図る。
			実績値	113	165	135	139					
子ども環境会議参加団体数	団体	環境政策課	目標値	/	(68)	(70)	(72)	(74)	78	90	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値72団体に対して、R5年度実績値は52団体となり、目標を達成できなかった。 4年ぶりに対面開催にて実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大前に設定した目標値に対して、コロナ禍による団体内での活動機会自体の減少傾向が回復しなかったことや、コロナ禍で複数年子ども環境会議を中止または手法を変更したことで、これまで継続して参加いただいていた団体が出展を見送られたことが、要因として考えられる。	子ども環境会議では、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、事業所、団体、大学等多種多様な参加が図れるよう参加の呼びかけ、積極的な広報活動を行う。 また、スクールESDとの連携を模索する。
			実績値	0	46	52	52					

2. 気候変動への対策(緩和と適応)

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
愛する地球のために約束する協定者数	者	温暖化対策室	目標値	/	(55)	(60)	(65)	(70)	80	110	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値65件に対して、R5年度実績値は55団体となり、目標を達成できなかった。 関係機関と連携を図り、新たに協定を締結した事業者があったものの、事務負担等を理由に協定解消を申し出る事業者もいたため目標には到達しなかったと考える。	R8年度の目標達成に向けて、引き続き関係機関と連携を図り、新たに事業者と協定を締結していくことに加えて、協定締結者の負担にならないように、事務作業等を改善していく必要があると考える。
			実績値	52	54	56	55					
地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	温暖化対策室	目標値	/	(40.3)	(42.3)	(44.3)	(46.3)	50.3	62.3	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値44.3%に対して、R5年度実績値は35.9%となり目標を達成することはできなかった。 各セミナー、イベントを通して普及啓発活動は行っていたが、より市民の方が興味を沸かすような内容を企画する必要があると考える。	引き続き、市民の方々に向け、地球温暖化対策に関して普及啓発を行っていくとともに、R8年度目標達成に向け、各セミナー、イベントを企画していきたいと考える。
			実績値	38.3	37.0	36.6	35.9					

3. 資源循環型社会の構築

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
1人1日当たりの家庭系ごみ量(集回回収量含む)	g/人・日	資源循環推進課	目標値	/	(553.5)	(546.2)	(534.4)	(519.2)	516.0	509.0	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値534.4gに対して、R5年度実績値は490.6gとなり、目標値を達成することができた。 主に、指定ごみ袋制度の変更や物価など景気変動による影響が考えられる。	市制施行70周年記念事業の関連事業として開催する「エコライフフェア草津」等のごみ問題を考える草津市民会議と連携した啓発事業や、ごみ分別アプリ等の媒体を通じて、引き続き、さらなるごみの減量や分別の徹底に向けた啓発を推進する。
			実績値	557.4	542.8	515.4	490.6					
1人1日当たりの事業系ごみ量	g/人・日	資源循環推進課	目標値	/	(260.5)	(258.7)	(252.4)	(244.3)	244.3	244.3	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値252.4gに対して、R5年度実績値は233.4gとなり、目標値を達成することができた。 主に、ごみの減量・リサイクルに向けた事業者への訪問指導等により、事業系ごみ排出量が抑えられていることによるものと考えられる。	引き続き、排出事業者への減量指導を行うなど、ごみの発生抑制と再利用に向けた取組を進める。
			実績値	232.4	239.6	240.0	233.4					

4. 自然とともに生活する環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
生物多様性保全対策での外来生物の捕獲数(対象:アライグマ、ハクビシン、ヌートリア)	頭	環境政策課	目標値	/	(85)	(90)	(95)	(100)	110	140	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値95頭に対して、R5年度実績値は60頭となった。目標設定時に急増したヌートリア被害が現在はほとんど発生していないため、目標値より低い値となった。	市ホームページや広報、各種イベント等で外来生物に関する周知啓発を積極的に行い、外来生物への認知度を高めていく。 また、市内で外来生物の目撃情報や捕獲依頼があれば、引き続き速やかに対応を行う。
			実績値	62	30	37	60				【前年度との比較】 R4年度実績値37頭に対して、R5年度実績値は60頭となった。捕獲頭数における種類別の割合に変化はなく、アライグマの捕獲頭数が増加傾向にある。	
生物多様性保全の学習会への参加者数	者	環境政策課	目標値	/	(0)	(1)	(2)	(3)	5	10	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値2者に対して、実績値は3者となり、目標値を達成することができた。	重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全・創出につながる事業を目指し、モデル地域が主体的に環境学習の企画運営を行っていたら、より効果的な県内の学習会への参加を促し、いきもの自然コーディネーターの育成の育成を図っていく。
			実績値	0	0	2	3				【前年度との比較】 R4年度実績値2者に対して、R5年度実績値は3者となり、参加者数は増加した。 当初予定していた県外の研修ではなく、参加が容易な県内の研修を案内したことが要因と考えられる。	

5. 健全な生活環境の保全

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況	達成回数 / 調査回数	環境政策課	目標値	/	(24/24)	(24/24)	(24/24)	(24/24)	24/24	24/24	【令和5年度目標値との比較】 R5年度目標値24に対して、R5年度実績値は21となり、目標の達成には至らなかった。 狼川で3回の基準超過があり、狼川流域上流において追加調査を続けているが、未だ具体的な原因の特定には至っていない。	河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく必要がある。 また、狼川流域上流の追加調査を継続して実施し、汚濁エリアの絞り込みや発生要因の特定につなげていく。
			実績値	18/24	20/24	17/24	21/24				【前年度との比較】 R4年度実績値17に対して、R5年度実績値は21となり、河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況は増加した。 伊佐々川の基準超過がなくなり、狼川の基準超過が前年度より3回少なかった。改善傾向が季節変動の範囲であるのか、今後の数値の変化を注視していく必要がある。また、狼川については、追加調査を継続して実施していく必要がある。	
法令に基づいた指導件数	件	環境政策課	目標値		(31)	(30)	(29)	(28)	26	20	【令和5年度目標値との比較】 R5年度目標値29件に対して、R5年度実績値は27件となり、目標を達成できた。	事業所立入を計画的に実施し、法令に基づく改善指導等を行いながら、事業所に自発的な法令遵守の取り組みをすすめていただけるよう啓発活動を継続していく必要がある。 また指導件数をさらに減少させていくためには、指導事項を確実に改善していただく必要があることから、改善状況の把握にも力を入れていく必要がある。
			実績値	15	28	24	27				【前年度との比較】 R4年度実績値24件に対して、R5年度実績値は27となり、指導件数は増加した。 R4に立入を実施した事業所数が48件であったのに対し、R5は52件に増えたことに起因しているものと考えられる。	

6. うるおい豊かな快適環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R9※	R14	R5年度成果	R9※年度目標達成に向けての課題および改善策
市民1人当たり 都市公園などの面積	m ² /人	公園緑地課	目標値		(6.5)	(6.5)	(6.5)	(6.5)	6.7	6.9	【R5年度目標値との比較】 都市公園は1公園、児童遊園3公園を供用開始し、目標値6.5m ² /人に対して実績値は6.63m ² /人となり、第3次みどりの基本計画に基づき都市公園の整備を進めた結果、目標を達成することができた。	今後の情勢の変化に備え、オープンスペースの活用等の時代に合った施策の検討が必要となってきている。
			実績値	6.71	6.66	6.65	6.63				【前年度との比較】 R4年度実績値6.65m ² /人に対して、R5年度実績値は6.63m ² /人となり、市民1人当たり都市公園などの面積は減少した。都市公園1公園、児童遊園3公園供用開始したが、児童遊園を1公園廃止したことや人口の増加が原因としてあげられる。	
達成目標	単位	担当課		R2	R3	R4	R5	R6	R8	R14	R5年度成果	R8年度目標達成に向けての課題および改善策
「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合	%	都市計画課	目標値		(22.0)	(23.1)	(24.2)	(25.3)	27.5	34.1	【R5年度目標値との比較】 R5年度目標値24.2%に対して、R5年度実績値は19.5%となり、目標達成には至らなかったが、R4年度の目標値および実績値との差(-5.8ポイント)からR5年度の目標値および実績値との差(-4.7ポイント)は改善した。地域景観に対する注目度等に変化があったと推測される。	びわこ大津草津景観推進協議会で取り組む湖岸の視点場のPRや東海道統一案内看板の普及に向けて市民等に啓発していく。
			実績値	20.9	19.0	17.3	19.5				【前年度との比較】 R4年度実績値17.3%に対して、R5年度実績値は19.5%となり、前年度から2.2ポイント増加した。景観づくりに関する啓発等を継続して進めてきた効果が少なからず現れたと考える。	

※「市民1人当たり都市公園などの面積」は、第3次草津市みどりの基本計画と整合を取り、R9年度に設定。